

付録 B

トラブル・シューティング

もしも以下に示すようなトラブルでお困りの場合には、先ずそこに書かれている解決のための手順に従ってみてください。最初の方法でうまくいかない時には、その次の方法を試して見てください。



重要: 販売店に電話される前に、この章に列記されている解決手順をやって見たかどうか、是非もう一度確認してください。



ヒント: 当社のWWWホームページには、きっとお役に立つ多くの情報が掲載されております。例えば、ジャンパー設定、最新のBIOSやドライバー、さらにその他のFAQなどです。お困りの問題に対する答えが見つかるかも知れません。どうぞお越しください。

台湾 <http://www.aopen.com.tw>

USA <http://www.aopen-usa.com>
<http://www.aopenamerica.com>

ヨーロッパ <http://www.aopen.nl>

日本 <http://www.aojp.aopen.com.tw>

トラブル・シューティング

画面が出ない

1. 2.2節の「ジャンパーの設定」に従って、すべてのジャンパー設定を確認してください。特にCPUの周波数設定、コア電圧とIO電圧の選択機能などのジャンパーが適切に設定されているかどうかを確かめます。お使いのCPUの正確な仕様については、そのCPUの販売店にお尋ねください。
2. お使いのシステムのAC電源ケーブルとパワー・スイッチをチェックしてください。電源の問題かどうかを知る簡単な方法は、CPUのファンと電源部のファンを調べて見ることです。これらのファンが回っていないければ、電源がどこかで落ちています。
3. 電源を切った上で、すべてのアドオン・カードとコネクタを抜いて、ビデオ（VGA）カードを挿したら電源を入れます。POST（電源投入時の自己診断）の画面が現れれば、問題はアドオン・カードか周辺装置にあることになります。アドオン・カードは1枚ずつ装着しては動作を確認することによって、どのカードが問題を起しているのかを見つけます。
4. モニターと、その（VGA）ケーブルをチェックしてください。<Num Lock>キーを押して「数字キー・ロック」機能をオン／オフさせて見ます。もしNum LockのLEDがちゃんと点滅するのであれば、システムのCPU、RIMM、BIOSのブートアップ手順などは正しく動作している証拠となります。この場合はお使いのビデオカード（VGA）かモニターに問題があります。

システムやハードディスク・ドライブが不安定。ハードディスクにバッド・セクターがある。システムが時々ハングしたり、勝手にリブートしたりする

1. 2.2節の「ジャンパーの設定」に従って、すべてのジャンパー設定を確認してください。特にCPUの周波数設定、コア電圧とIO電圧の選択機能などのジャンパーが適切に設定されているかどうかを確かめます。お使いのCPUの正確な仕様については、そのCPUの販売店にお尋ねください。市場には不良品に刻印を打ち直して良品に見せかけた物が多く出回っております。きちんとした箱に納められたCPU、きちんとした包装で保証カードの添付されているCPUを購入されお使いになることを強くお勧めします。
2. 高性能を得るためにBIOSでのデフォルトのタイミングは 60nsになっています。このDRAMのタイミングを70nsにセットし、BIOS中のすべての「チップセットの高度利用機能」をオフにしてください。ミングは遅くし、チップセットの強化機能はオフにする必要があるでしょう。詳しくは3章の「チップセットのセットアップ」を参照してください。

トラブル・シューティング

4. 節電管理機能とUSB機能をオフにしてください。アドオン・カードやドライバー、アプリケーション・ソフトの中には、これらの機能と相容れないものがあるからです。
5. 3章の「BIOS機能のセットアップ」に従って、外部キャッシュ（二次キャッシュ）を使わない設定に見てください。システムがこれできちんと動くようになるのであれば、お使いのキャッシュ・モジュールかオンボードのRDRAMに不具合があります。
6. BIOSを起動し、HDDの「ブロック」と「32ビット」モードのパラメータをオフにします。詳しくは3章の「周辺装置の組み込み」を参照してください。関連して、出来ればハードディスクのPIOモード2または3でのデータ転送速度を遅くして見てください。
7. 電源を切った上で、すべてのアドオン・カードとコネクタを抜いて、ビデオ（VGA）カードを挿したら、IDEのハードディスクは1台だけを、IDEケーブルの一番遠い端のコネクタにつなぎます。電源を入れます。このケーブルの長さは46cm(18インチ)を超えてはいけません。（2.3節「コネクタ」を参照）。システムが正しく機能するようであれば、アドオン・カードを1枚ずつ挿していきます。こうする事で、どのカードなりドライバー・ソフトなりが問題を起しているかがわかります。この時2番目のIDE装置（HDDまたはCD-ROM）は、同じプライマリー・チャンネルにスレーブ・モードで接続することに注意してください。
8. もしもお使いのシステムでCPUバス周波数が133 MHzの場合は、コア／バス周波数比（倍率係数）はそのまま変えずに保ちながら、CPUの外部／バス周波数を100MHzに落として見てください。バス周波数100MHzのCPUは、普通それより遅いスピード、この場合は66 MHzでも問題なく動作する筈です。これによって、ひょっとしてお使いのCPUがお化粧直し品と言うことはないかどうか、またマザーボードやアドオン・カードが66MHzでは不安定になると言うことはないかがわかります。

トラブル・シューティング

キーボード、マウス、プリンタ、またはフロッピー・ドライブがきちんと動作しない

1. ケーブルとブラケットを調べます。ケーブルの1番ピンが正しくコネクタの1番ピンとつながっていることを確認してください。ピン1番はフラット（リボン）ケーブルでは、（正しく作られていれば）赤色の線で他と区別出来るようになっています。2.3節「コネクタ」を参照してください。
2. 周辺装置とケーブルは、もしも可能であれば別のシステムにつないで見て、正しく動くかどうかチェック出来ると好都合です。
3. もしもお使いのマザーボードやケーブルに欠陥のある場合は、出来れば念のために、別のシステムで動作している他の周辺装置をこれにつないで見て、確認する方法があります。

CMOSがデータを失うことがある。パスワードを忘れる。

1. 2.2節の「ジャンパーの設定」を参照してください。ジャンパー（JP14）位置をボード上で見つけ、CMOSのクリアー方法についての説明（2.2.3節）に従ってください。その後でBIOSのデフォルト設定値を読み込みます。
2. マザーボードに電池が付属している場合は、それを取り替えてみます。ただし、マザーボードにDallas DS12887Aと互換性のあるRTCが搭載されている場合は、このRTC用電池は7年はもつ物なので、電池電圧の低下が原因と言うことは先ず起こりにくい筈です。この場合には、マザーボードを購入された販売店に送り返す以外にありません。

アドオン・カード、周辺装置、オペレーティングシステム、アプリケーション・ソフトウェアに互換性がない

1. 2.2節「ジャンパーの設定」に従って、すべてのジャンパー設定を確認してください。
2. BIOS中のすべての「チップセットの高度利用機能」をオフにしてください。詳しくは3章の「チップセットのセットアップ」を参照してください。
3. 節電管理機能とUSB機能をオフにしてください。アドオン・カードやドライバー、アプリケーション・ソフトの中には、これらの機能と相容ないものがあるからです。

トラブル・シューティング

4. 外部キャッシュ（二次キャッシュ）と、BIOS中にあるシステムBIOSとVGA BIOSのキャッシュ設定用パラメータを、いずれも使わない設定にしてください。3章の「高度なCMOSのセットアップ」を参照してください。アプリケーションによっては、システムのスピードの速い場合にトラブルの発生する物があります。
5. 当社のWWWホームページ（URLアドレスは、<http://www.aopen.com.tw>）を訪ねて、FAQ（よく寄せられる質問）のページをチェックして見てください。お手元のBIOSよりも新しいバージョンがアップされていた場合はそれをダウンロードし、これで再度これまでのチェックを再確認して見てください。



重要： 以上これまでに列記した対策手段をすべてやってみた後でもなお問題の解決しない場合には、この後に添付されている「不具合報告」の書式をご利用ください。このフォームの質問項目にご記入の上、あなたのシステムの設定（コンフィギュレーション）状態と不具合現象を出来るだけ詳しく記してください。お知らせ頂く情報が詳しくれば詳しいだけ、私どもでその解決方法を見つけるのが早くなります。このフォームをコピーされて、販売店・ディーラーにFaxされても、あるいはEメールでお送りいただいても結構です。BIOSやマザーボードのバージョンを知る方法に関しては、付録Bの「FAQ よく寄せられる質問」を参照してください。